山川中学校だより

自律　親和　創造

第６号
令和８年１０月９日(金)
文責：谷　陽子

地域の支えに感謝し、大切な「命」と「未来」を守る秋に

朝夕の心地よい風に、秋の深まりを感じる季節となりました。９月は、生徒一人ひとりの創造力が発揮された山中祭、防災意識を高めた防災学習など、多彩な教育活動を通して生徒たちの確かな成長を実感する１か月となりました。そして、10 月上旬には、２年生が職場体験学習を実施し、地域で働く尊さを学びました。ご協力いただいた事業所の方々に感謝申し上げます。

■ 地域の温かいお心遣いに支えられて



９月下旬、本校では順延となっていた除草作業を実施いたしました。雨による日程調整が続く中、川田中部地区青少年育成会の皆さまが、本校生徒のためにと大掛かりな除草作業を行ってくださいました。

貴重な休日に汗を流してくださった地域の皆さまの温かいお心遣いに、心より感謝申し上げます。美しく整えられたグラウンドでは、生徒たちが体育祭に向け、活気ある声とともに練習に励んでおります。

■ ほんの少しの「慣れ」を戒め、自分の命を守る行動を

日暮れが早くなるこの季節は、自転車事故のリスクが高まる時期でもあります。先日行った全校集会では、全校生徒に向けて交通安全とヘルメットの正しい着用について話をしました。

２学期は、通学や自転車の操作に慣れてくる時期でもあり、その「ほんの少しの慣れや心の隙」が大きな事故につながることがあります。自分がどれほど注意していても相手の不注意に巻き込まれる危険もあるからこそ、「自分の命は自分で守る」という意識が不可欠です。

「ヘルメットをまっすぐかぶり、あごひもを適切に締めること」―それは、大切な頭部を守る最も確実な方法です。これからを生きる生徒たちには、無限の豊かな未来が広がっています。一瞬の油断や気の緩みで大切な将来を損なうことがないよう、ご家庭でもヘルメットの正しい着用の実践について声かけをいただけると幸いです。



生徒が自らの安全を意識して判断し、自律的に行動できるよう、学校・ご家庭・地域が手を携えながら生徒の成長を見守ってまいりたいと存じます。今後とも変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

学校の様子を紹介します。

９月 12 日（土）　山中祭（文化祭）



生徒たちは、山中祭に向けて夏休み前から学級や学年で計画的に準備を進めてきました。当日は、芸術部による華やかなパフォーマンス、１年生による舞台発表、有志によるダンスや歌唱、漫才など、生徒たちの多彩な才能と個性が輝る演目が次々に披露されました。午後からの模擬店や趣向を凝らした展示の部も大盛況となり、校内は終日活気と喜びに包まれていました。

９月 18 日（金）　防災学習出前授業（３年生）



徳島県防災人材育成センターより講師をお迎えし、「地域の避難所運営」についてのワークショップに挑戦しました。学校が避難所になった状況を想定し、高齢者や子どもたちの避難場所、物資の配置などを話し合いながら、次々と訪れる避難者を適切に受け入れる方法を熱心に考えていました。

９月 18 日（金）　まなぼうさい教室（１年生）



３年生と同日、１年生も防災学習を実施しました。講師の方から地震発生の仕組みや避難行動の仕方だけでなく、避難所でのトイレ事情といった実践的な課題についても講義をしていただきました。さらに、非常用トイレの設置や段ボールベットの組み立てにも挑戦し、実体験を通して防災への理解と備えの意識を深めることができました。

９月 25 日（金）　キャリア教育出前授業（２年生）



職場体験学習を前に、(株)ヨコタコーポレーションの社長さんを講師に迎え、社会人としてのマナーや働くことの意義について教えていただきました。講話では、徳島県の豊かな働く環境や多種多様な職業の魅力について触れていただいたので、生徒たちは、地域の仕事や自分の将来について考える貴重な機会となりました。

９月 28 日（月）　ふるさと学習（１年生）



川島町在住でアマチュア写真家の阿部様を講師にお迎えし、ふるさと学習を実施しました。吉野川市の美しい風景写真の数々に生徒たちは感動の連続で、特に川島城と月が浮かぶ幻想的な写真には、深く心を打たれていました。お話を聞いて、生徒たちは身近な地域の魅力を再発見したようでした。